

ラヴェル生誕150周年記念

PIANO CONCERT

～次世代を担う若きピアニストが奏でる特別プログラムを
伝統と革新技術が融合したGXシリーズでお楽しみください～佐川
和
冴稲積
陽
菜

9月14日(日)

会 場:カワイ梅田
コンサートサロン「ジュエ」

入場料:無料 定員:50名

ピアノ:GX-6

演 奏:佐川 和冴

開演:13:30 開場:13:00
終演:14:50(予定)

※公開録音あり

ピティナピアノ曲事典に掲載する演奏を
録音するためのコンサートです

9月15日(月) 祝

会 場:カワイ名古屋
1階フロア

入場料:無料 定員:30名

ピアノ:GX-3

演 奏:佐川 和冴

開演:13:30 開場:13:00
終演:14:25(予定)

10月11日(土)

会 場:カワイ表参道
コンサートサロン「パウゼ」

入場料:無料 定員:100名

ピアノ:GX-6

演 奏:稲積 陽菜

開演:14:00 開場:13:30
終演:15:20(予定)

※公開録音あり

ピティナピアノ曲事典に掲載する演奏を
録音するためのコンサートです

【演奏曲】(ラヴェル)・亡き王女のためのパヴァーヌ ・水の戯れ ほか

※都合により、予告なく曲目が変更になる場合がございます。

特典

イベント参加者様、及びイベント参加者様からの
紹介によりグランドピアノGXシリーズを12月末日
までにご成約・ご納品いただきました方の中から
抽選で5組(1組2名様まで)をカワイ竜洋工場(静
岡県磐田市)見学にご招待いたします。

【チケットお問合せ】

※各開催催会場または営業担当者までをお願いします。
ホームページからお申し込みいただけます。カワイ梅田
06-6345-8300カワイ名古屋
052-962-3939カワイ表参道
03-3409-2511

主催:㈱河合楽器製作所 カワイ音楽振興会

後援:一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)

profile

佐川和冴 SAGAWA KAZUSA

1998年埼玉県生まれ。東京音楽大学ならびに同大学院修士課程を首席で修了。

第21回東京音楽コンクールピアノ部門にて第1位受賞。第4回Shigeru Kawai国際ピアノコンクール第2位(日本人最高位)併せて聴衆賞を受賞。その他第90回日本音楽コンクールピアノ部門第2位、第31回宝塚ベガ音楽コンクール第1位、第15回日本演奏家コンクール最高位、第15回東京音楽大学コンクールにおいて史上最年少で第1位等数々のコンクールで優勝、入賞している。2018年第39回霧島国際音楽祭にて、エリソ・ヴィルサラーゼ氏の推薦を得て霧島国際音楽祭賞を受賞。

また、東京音楽大学短期留学奨学生としてモスクワ音楽院(ロシア)に留学。Villa Sandra Piano Academy(イタリア)でモスト・プロミシング賞を受賞する他、Chetham's International Piano Summer School(イギリス)、浜松国際ピアノアカデミーなどでも研鑽を積む。これまでに東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団主催のティアラこうとう定期演奏会に抜擢され好評を博した他、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団や東京フィルハーモニー交響楽団等と共演する。現在、ハンスアイスラー音楽大学ベルリンの修士課程に在籍しエルダー・ネボルシンに師事している。

稲積陽菜 INAZUMI HINA

2003年生まれ。2007年桐朋学園大学音楽学部附属子供のための音楽教室仙川教室入室。2017年Jugent musiziertより招待され、ドイツ6都市でのコンサートに出演。第5回桐朋学園全国ジュニア音楽コンクールピアノ部門中学校の部第1位。第20回日本演奏家コンクール中学生の部第1位。第73回全日本学生音楽コンクールピアノ部門高校生の部 東京大会及び全国大会第2位。第2回Kピアノsoloコンクール第1位。第10回福田靖子賞選考会第4位。第13回桐朋ピアノ・コンペティション第1位。第91回日本音楽コンクールピアノ部門入選。第10回アリオン音楽賞本賞受賞。第92回日本音楽コンクールピアノ部門第2位。第5回ショパンピアノコンクール2024 第1位。2025年度 RMF奨学生。これまでに東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、桐朋学園大学オーケストラ、タクトカートオーケストラと度々共演。全国各地でのソロリサイタルやCDリリースなどを含む演奏活動を精力的に行う。これまでにピアノを梅村祐子、本村久子、沼沢淑音、関本昌平、三上桂子、横山幸雄の各氏に師事。現在、桐朋学園大学音楽部4年に特待生として在学中。

GXシリーズ



写真はGX-6

GXシリーズは、カワイグランドピアノの歴史を受け継ぐピアノ。演奏者の幅広いニーズに応えるプロフェッショナルモデルです。創業時から受け継がれてきた「ピアノは一台一台丁寧に作りこむもの」という精神を基に、目に見えない部分にまで妥協を許しません。職人たちの手仕事の精度と感性は、一音一音に息づき、豊かな音色と表現を生み出します。伝統と技術を礎としつつも、革新を恐れない姿勢が、常にピアノづくりを前進させています。

そうした姿勢は今も受け継がれており、クラフトマンたちは日々研鑽を重ね、技術者たちは今日もさらに高い理想に向けて、たゆみない研究に取り組んでいるのです。

カワイグランドピアノの軌跡。それは、紛れもなくカワイの挑戦の歴史であり、同時に未来への導でもあるのです。

その音と響きは、演奏者の感性と共鳴し、音楽表現の可能性を限りなく広げていきます。